



# UDL - 2002 シリーズ 超音波式水位データロガー流量計

## 特 徴

- 1) 非接触、稼動部が無い、低電力消費など特長を持ち、信頼性に優れ長期調査に適しています。
- 2) 0.2m ~ 0.7m 迄の短スパンで狭い場所での計測が可能です。
- 3) 流積断面に対してセンサの影響が全くないので、浅い水深や流速にも適しています。
- 4) 浮いたゴミや厚い泡の層が停滞したり、大きな泡立ちや強風のある箇所には適さず、超音波の放射角、不要な反射や不感域の関係で設置可能箇所がある程度限定されます。

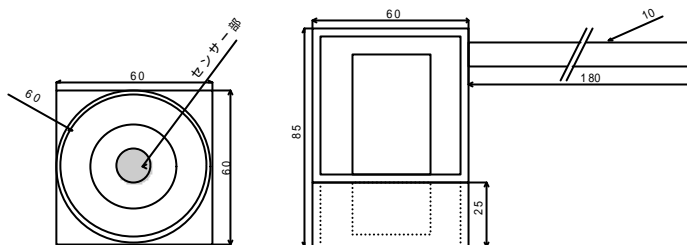


# U D L - 2002 シリーズ 超音波式水位データロガー

## 機器仕様

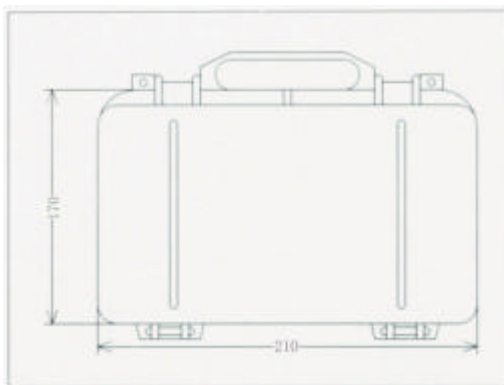
### 水位流速検出部

- 1) 検出方法：超音波センサから発射したパルス波が液面で反射しセンサに受信されるまでの往復時間から、液面の位置を検出する。
- 2) 測定範囲：スパン 0.5m  
測定距離 0.2 ~ 0.7m  
不感距離 0.2m
- 3) 精度：±3.0%スパン
- 4) 出力：DC 0 ~ 10V
- 5) 電源：DC 15 ~ 45V
- 6) 周囲温度：-20 ~ +60
- 7) 構造：検出部防沫型
- 8) 材質：プラスチック、SUS
- 9) 寸法：W60 × D60 × H85
- 10) 重量：約 1.5kg (ケーブル別)



### データロガー部

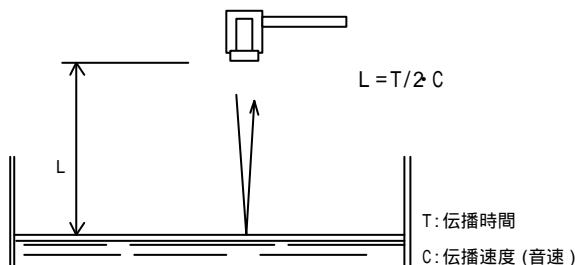
- 1) 入力CH：1チャンネル(水位)
- 2) 記録媒体：データロガー内部
- 3) 分解脳：1 / 65536 スパン
- 4) 記憶時間：約 24 日
- 5) 記録時間：1 分毎 (可変)
- 6) 表示：液晶表示(設定状況ほか)
- 7) 電源：DC 12V
- 8) 周囲温度：-10 ~ +50
- 9) 構造：防水構造
- 10) 材質：ケース ABS
- 11) 寸法：H170 × W210 × D90mm
- 12) 重量：約 1 kg



## 測定原理他

### 1) 超音波レベル計

超音波レベル計は、測定面（主に液体）へ向けて定期的に超音波パルス信号を発信し、測定面で反射して戻ってきたエコーを受信するまでの時間により検出部から測定面までの距離を求めます。



### 2) データ処理

データロガーに記録された水位データは専用の伝送器と専用ソフトを用いてコンピュータへ伝送し、流量に演算します。演算結果は原データと共に1次加工の上、表集計や時系列グラフを作成します。